

2023年度 環境経営レポート

＜対象期間： 2023年4月～2024年3月＞



株式会社グリーン自動車

2024年7月20日発行



1. 組織の概要

事業社名及び代表者		所在地																			
株式会社グリーン自動車 (マツダオートザム山形西) (スズキアリーナ山形嶋) (スズキ山形西部整備工場) 代表取締役 舟山 廣三		株式会社グリーン自動車 ■マツダオートザム山形西 〒990-0892 山形市大字中野155-4 ■スズキアリーナ山形嶋 〒990-0886 山形市嶋南三丁目7番15号 ■スズキ山形西部整備工場 〒990-0300 東村山郡山辺町三河17-1																			
事業内容		事業の規模																			
マツダブランド・スズキブランドの乗用車・商用車 新車・中古自動車販売 自動車整備業(車検・点検・修理等) 保険業務		<table><tr><td>店舗数</td><td>3</td><td>店舗</td></tr><tr><td>従業員数</td><td>30</td><td>人</td></tr><tr><td>年間売上</td><td>15</td><td>億円</td></tr><tr><td>年間新車販売台数</td><td>352</td><td>台</td></tr><tr><td>年間中古車販売台数</td><td>259</td><td>台</td></tr><tr><td>年間整備入庫台数</td><td>7325</td><td>台</td></tr></table>		店舗数	3	店舗	従業員数	30	人	年間売上	15	億円	年間新車販売台数	352	台	年間中古車販売台数	259	台	年間整備入庫台数	7325	台
店舗数	3	店舗																			
従業員数	30	人																			
年間売上	15	億円																			
年間新車販売台数	352	台																			
年間中古車販売台数	259	台																			
年間整備入庫台数	7325	台																			
環境管理責任者及び担当者																					
環境管理責任者		総務	佐藤 聡																		
EA21環境推進事務局		サービス	後藤 幸宏																		
対象事業所	マツダオートザム山形西		取得済み																		
	スズキ山形西部整備工場		2024年認証取得予定																		
	スズキアリーナ山形嶋		2024年認証取得予定																		
連絡先	TEL :	023-681-0036																			
	FAX: :	023-681-0038																			

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

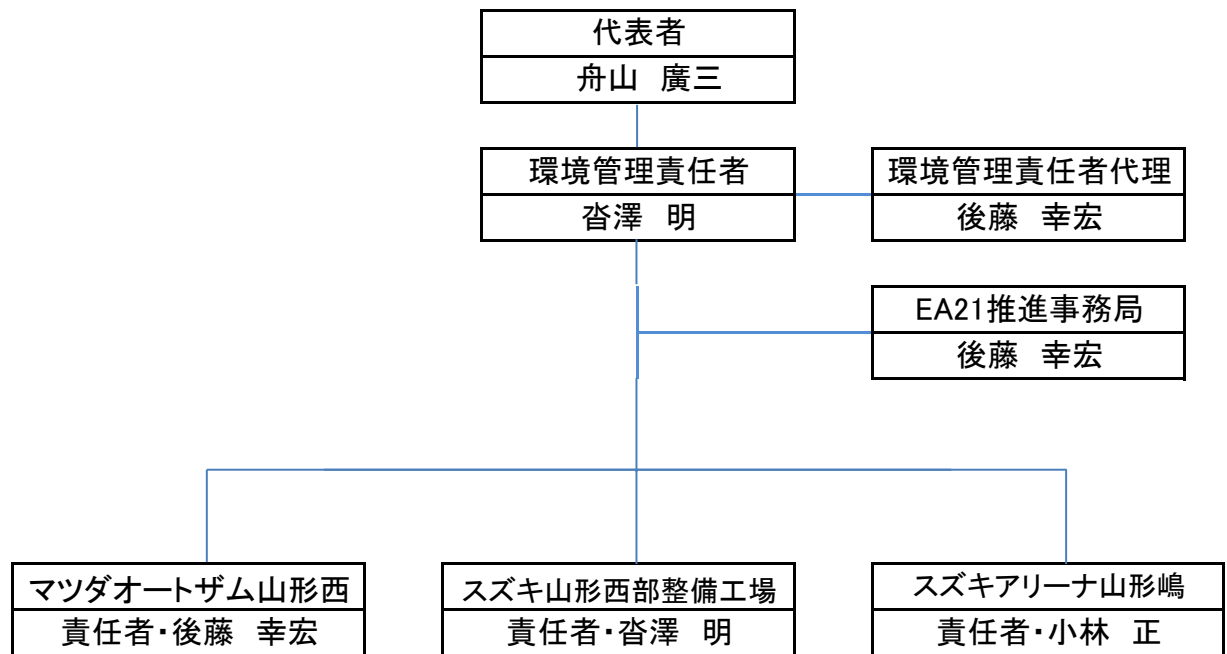
認証・登録事業者:

株式会社グリーン自動車
 ■マツダオートザム山形西

認証・登録の活動範囲:

乗用車・商用車・新車・中古車販売
 自動車整備業(車検・点検・修理)
 保険業務

3. 実施体制



担当者	役割
代表者	・環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運営に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・実施体制の構築 ・経営における課題とチャンスの整理と明確化 ・環境経営レポートの確認
環境管理責任者(代理)	・実務上の責任者として、環境取り組みを推進 ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・EMSの構築・実施・管理 ・環境経営計画書、環境関連法令とりまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
EA21推進事務局	・環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取り組みを推進 ・店舗の環境取り組みの指導、支援 ・環境データの集計、取りまとめ
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門に関する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営方針

基本理念

株式会社グリーン自動車は、自動車販売・自動車整備・保険業務などの全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

行動指針

- 1 マツダ車及びスズキ車などの環境配慮型エンジン搭載車の拡販により、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
- 2 社内で使用する水量を削減し、節水に取り組みます。
- 3 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進します。
- 4 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
- 5 環境に配慮した製品の提供及びリサイクルパーツ拡販によるCO₂削減に取り組めます。
- 6 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
- 7 環境関連法規等を遵守します。

2024年5月1日

株式会社グリーン自動車

代表取締役

舟山 廣三

5. 環境経営目標

1. 環境経営目標(マツダオートザム山形西)

項目		単位	2019年度実績	目標		
			(基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度
電力	二酸化炭素排出量	kg-co2	7387	7090	7090	7090
	(削減率)		目標	▲3.0%	現状維持	現状維持
	電力使用量	kWh	15518	15052	15052	15052
	(削減率)		目標	▲3.0%	現状維持	現状維持
化石燃料	ガソリン使用量	L	14965	14366	14217	14067
	(削減率)		目標	▲4.0%	▲5.0%	▲6.0%
	軽油使用量	L	1867	1792	1774	1755
	(削減率)		目標	▲4.0%	▲5.0%	▲6.0%
	二酸化炭素排出量	kg-co2	39643	38057	37661	37264
	(削減率)		目標	▲4.0%	▲5.0%	▲6.0%
廃棄物	産業廃棄物	kg	12401	11905	11781	11657
	一般廃棄物		目標	▲4.0%	▲5.0%	▲6.0%
水使用量(排水量)		m³	186	179	177	175
			(削減率)	目標	▲4.0%	▲5.0%
リサイクル販売に伴うCO2削減量UP率		KgCO2	2322	2484	2507	2531
			目標	7.0%UP	8.0%UP	9.0%UP
エコ点検実施率増加率		台	362	420	424	427
			目標	16%UP	17%UP	18%UP
エコオイルの拡販増加率		L	4600	5336	5382	5428
			目標	16%UP	17%UP	18%UP

(注) 購入電力の二酸化炭素排出係数は東北電力の2022年度排出調整後係数(0.471kg-CO2/Kwh)を使用。

(注) 基準年度は2019年4月～2020年3月分の資料より算出

5. 環境経営目標

1. 環境経営目標(スズキ山形西部整備工場)※基準年度は2023年6月～8月

項目		単位	2023年度実績 (基準年度)	目標		
				2023年度	2024年度	2025年度
電力	二酸化炭素排出量	kg-co2	7748	7671	13017	12884
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	電力使用量	kWh	16451	16286	27637	27361
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
化石燃料	ガソリン使用量	L	4256	4213	7150	7078
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	軽油使用量	L	197	195	330	327
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	二酸化炭素排出量	kg-co2	10398	10294	17467	16943
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
廃棄物	産業廃棄物	kg	4696	4648	7890	7810
	一般廃棄物		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
水使用量(排水量)		m ³	260	259	307	304
(削減率)			目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
リサイクル販売に伴うCO2		KgCO2	次年度より開始	0	487	492
削減量UP率			目標	6.0%UP	7.0%UP	8.0%UP
エコ点検実施率		台	91	100	175	176
増加率			目標	10%UP	11%UP	12%UP
エコオイルの拡販		L	454	449	872	880
増加率			目標	10%UP	11%UP	12%UP

(注)購入電力の二酸化炭素排出係数は東北電力の2022年度排出調整後係数(0.471kg-CO2/Kwh)を使用。

(注)2023年度実績(基準年度)は2023年6月～2023年8月までの3ヶ月実績値を基に、暫定的に1年分の実績を算出しています。

5. 環境経営目標

1. 環境経営目標(スズキアリーナ山形嶋)※基準年度は2023年6月～8月

項目		単位	2023年度実績 (基準年度)	目標		
				2023年度	2024年度	2025年度
電力	二酸化炭素排出量	kg-co2	7728	7650	12432	12304
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	電力使用量	kWh	16407	16243	27564	27288
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
化石燃料	ガソリン使用量	L	12459	12334	20932	20723
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	軽油使用量	L	440	436	740	733
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	二酸化炭素排出量	kg-co2	30080	29779	52148	50552
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
廃棄物	産業廃棄物	kg	1798	1780	3021	2991
	一般廃棄物		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
水使用量(排水量)		㎡	112	111	187	186
(削減率)			目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
リサイクル販売に伴うCO2		KgCO2	次年度より開始		535	578
削減量UP率			目標	6.0%UP	7.0%UP	8.0%UP
エコ点検実施率		台	294	323	559	564
増加率			目標	10%UP	11%UP	12%UP
エコオイルの拡販		L	1420	1562	2703	2727
増加率			目標	10%UP	11%UP	12%UP

(注)購入電力の二酸化炭素排出係数は東北電力の2022年度排出調整後係数(0.471kg-CO2/Kwh)を使用。

(注)2023年度実績(基準年度)は2023年6月～2023年8月までの3ヶ月実績値を基に、暫定的に1年分の実績を算出しています。

5. 環境経営目標

1. 環境経営目標(全社・全サイト目標)

項目		単位	2019年度実績 2023年度6～8月 (基準年度)	目標		
				2023年度	2024年度	2025年度
電力	二酸化炭素排出量	kg-co2	22863	22411	32539	32278
	(削減率)		目標	▲1.0%	現状維持	現状維持
	電力使用量	kWh	48376	47581	70253	69701
	(削減率)		目標	▲1.0%	現状維持	現状維持
化石燃料	ガソリン使用量	L	31680	30913	42299	41868
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	軽油使用量	L	2504	2422	2844	2815
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
	二酸化炭素排出量	kg-co2	80121	78130	107276	104759
	(削減率)		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
廃棄物	産業廃棄物	kg	18895	18333	22692	22458
	一般廃棄物		目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
水使用量(排水量)		㎥	558	549	671	665
(削減率)			目標	▲1.0%	▲2.0%	▲3.0%
リサイクル販売に伴うCO2		KgCO2	2322	2484	3529	3601
削減量UP率			目標	7.0%UP	8.0%UP	9.0%UP
エコ点検実施率		台	747	843	1158	1167
増加率			目標	16%UP	17%UP	18%UP
エコオイルの拡販		L	6474	7347	8957	9035
増加率			目標	16%UP	17%UP	18%UP

(注)購入電力の二酸化炭素排出係数は東北電力の2022年度排出調整後係数(0.471kg-CO2/Kwh)を使用。

(注)2023年度実績(基準年度)は2023年6月～2023年8月までの3ヶ月実績値を基に、暫定的に1年分の実績を算出しています。

6. 環境経営計画

1) 二酸化炭素排出量の削減

- ① 電力使用量の削減
 - ・ 空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房25℃)
 - ・ サービス工場未使用時は主電源を切る
 - ・ 「NO残業Day」を設け、夜間の電気使用量を削減
 - ・ 日中の照明器具の使用を50%削減する
- ② 化石燃料の使用量/エコカー販売比率
 - ・ お客様来店型店舗への移行
 - ・ 社用車を低燃費車へ移行
 - ・ エリア別営業活動の見直し
 - ・ 給油使用記録簿を作成し、燃料消費量を把握

2) 廃棄物排出量の削減

- ・ 分別の徹底
- ・ シュレッダー使用の制限、裏紙の活用
- ・ 事務連絡のコピーレス化

3) 水使用量の削減

- ・ 水道管の漏水を定期的に点検
- ・ 雨天、降雪時は洗車をなるべく行わない
- ・ 手洗い、洗い物時は日常的に節水をする

4) リサイクルパーツ拡販の推進

- ・ 自動車のリサイクルパーツの拡販
- ・ 自動車用リビルト部品の使用拡大

5) 製品及びサービスにおける環境配慮

- ・ エコオイルの拡販
- ・ マツダ最新のSKYACTIV搭載車の拡販によるCO2削減
- ・ エコ整備、12ヶ月点検の推進
- ・ スズキ最新低燃費車両の拡販によるCO2削減

6) 化学物質の削減

- ・ 把握した化学物質の適正に管理。

7) 社会貢献への取組

- ・ 会社廻りの歩道などの清掃(年2回)
- ・ お客様感謝祭などの還元イベントの開催(年1回)

8) 浄化槽の法定検査の実施(マツダオートザム山形西のみ)

- ・ 浄化槽の法定検査の実施状況の確認

7. 環境経営目標の実績

2023年4月～2024年3月運用期間の目標と実績(マツダオートザム山形西)

項目		単位	2019年度実績	2023年4～2024年3月		
				目標	実績	評価
電力	二酸化炭素排出量	kg-CO2	7387	7165	7245	△
				▲3.0%	未達☹□1.2%増	
	電力使用量	kWh	15518	15052	15853	△
				▲3.0%	未達☹□1.6%増	
化石燃料	ガソリン使用量	L	14965	14366	7950	○
				▲4.0%	達成☺▲45%減	
	軽油使用量	L	1867	1791	3756	×
				▲4.0%	未達☹□109%増	
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	39643	38057	28406	○
				▲4.0%	達成☺▲25%減	
水使用量		m3	186	179	134	○
				▲4.0%	達成☺▲25%減	
廃棄物排出量		kg	12401	11905	6180	○
				▲4.0%	達成☺▲48%減	
グリーン購入・リサイクル パーツによるCO2削減UP率		kg-CO2	2322	2484	2392	△
				□7.0%UP	未達☹▲4.0%減	
点検実施率		台	362	420	423	○
				□16%UP	達成☺□0.8%増	
エコオイルの拡販		L	4600	5336	5600	○
				□16%UP	達成☺□5.0%増	
社会貢献への取組		実施日	2023年9月11日・2024年3月6日に会社周りの歩道などの清掃を実施しました。 2023年10月14・15日にお客様感謝祭を開催しました。			○
浄化槽の法定検査		実施日	2023年5月29日に浄化槽の法定検査を実施			○

★評価基準・○→達成・×→89%以下・△→99%～90%

※2019年度実績、電気使用量・▲→マイナス □→プラス

※ 購入電力のCO2排出係数は東北電力の2022年度調整後排出係数 (0.471kg-CO2/kWh)

7. 環境経営目標の実績

2023年9月～2024年3月運用期間の目標と実績(スズキ山形西部整備工場)

項目		単位	2023年度実績 7か月分暫定	2023年9月～2024年3月		
				目標	実績	評価
電力	二酸化炭素排出量	kg-CO2	7748	7671	10700	×
				▲1.0%	未達☹□39%増	
	電力使用量	kWh	16451	16286	22718	×
				▲1.0%	未達☹□39%増	
化石燃料	ガソリン使用量	L	4256	4213	5438	×
				▲1.0%	未達☹□29%増	
	軽油使用量	L	197	195	241	×
				▲1.0%	未達☹□24%増	
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	10398	10294	5084	×
				▲1.0%	未達☹□15%増	
水使用量		m3	260	259	257	○
				▲1.0%	達成☺▲0.6%減	
廃棄物排出量		kg	4696	4648	3028	○
				▲1.0%	達成☺▲35%減	
グリーン購入・リサイクル パーツによるCO2削減UP率		kg-CO2	次年度より開始			
点検実施率		台	91	100	161	○
				□10%UP	達成☺□61%増	
エコオイルの拡販		L	454	449	841	○
				□10%UP	達成☺□87%増	
社会貢献への取組		実施日	2023年9月11日に会社周りの歩道など の清掃を実施しました。 2023年10月14・15日にお客様感謝祭を開催しました。			○

★評価基準・○→達成・×→89%以下・△→99%～90%

(注) 2023年度実績値と目標値(暫定的に目標とした数値)は2023年9月から2024年3月までの期間分とします。

※ 購入電力のCO2排出係数は東北電力の2022年度調整後排出係数 (0.471kg-CO2/kWh)

7. 環境経営目標の実績

2023年9月～2024年3月運用期間の目標と実績(スズキアリーナ山形嶋)

項目		単位	2023年度実績 7か月分暫定	2023年9月～2024年3月		
				目標	実績	評価
電力	二酸化炭素排出量	kg-CO2	7728	7650	12214	×
				▲1.0%	未達☹□60%増	
	電力使用量	kWh	16407	16243	25932	×
				▲1.0%	未達☹□60%増	
化石燃料	ガソリン使用量	L	12459	12334	12133	○
				▲1.0%	達成☺▲1.6%減	
	軽油使用量	L	440	436	772	×
				▲1.0%	未達☹□77%増	
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	30080	29779	30195	△
				▲1.0%	未達☹□1.4%増	
水使用量		m3	112	111	124	×
				▲1.0%	未達☹□12%増	
廃棄物排出量		kg	1798	1780	3340	×
				▲1.0%	未達☹□87%増	
グリーン購入・リサイクル パーツによるCO2削減UP率		kg-CO2	次年度より開始			
点検実施率		台	294	323	315	△
				□10%UP	未達☹▲2.3%減	
エコオイルの拡販		L	1420	1562	1864	○
				□10%UP	達成☺□19%増	
社会貢献への取組		実施日	2023年9月11日に会社周りの歩道などの清掃を実施しました。 2023年10月14・15日にお客様感謝祭を開催しました。			○

★評価基準・○→達成・×→89%以下・△→99%～90%※

(注) 2023年度実績値と目標値(暫定的に目標とした数値)は2023年9月から2024年3月までの期間分とします。

※ 購入電力のCO2排出係数は東北電力の2022年度調整後排出係数 (0.471kg-CO2/kWh)

7. 環境経営目標の実績

2023年4月～2024年3月運用期間の目標と実績(全社・全サイト)

項目		単位	2019年度実績 2023年度実績 (7か月分暫定)	2023年4～2024年3月		
				目標	実績	評価
電力	二酸化炭素排出量	kg-CO2	22863	22411	30159	×
				▲1.0%	未達☹□35%増	
	電力使用量	kWh	48376	47581	64503	×
				▲1.0%	未達☹□35%増	
化石燃料	ガソリン使用量	L	31680	30913	25521	○
				▲1.0%	達成☺▲17%減	
	軽油使用量	L	2504	2422	4769	×
				▲1.0%	未達☹□96%増	
	二酸化炭素排出量	kg-CO2	80121	78130	63685	○
				▲1.0%	達成☺▲19%減	
水使用量		m3	5580	549	515	○
				▲1.0%	達成☺▲6.0%減	
廃棄物排出量		kg	18895	18333	12548	○
				▲1.0%	達成☺▲33%減	
グリーン購入・リサイクル パーツによるCO2削減UP率		kg-CO2	2322	2484	2392	△
				□7.0%UP	未達☹▲4.0%減	
点検実施率		台	747	843	899	○
				□16%UP	達成☺□7.0%増	
エコオイルの拡販		L	6474	7347	8305	○
				□16%UP	達成☺□13%増	

★評価基準・○→達成・×→89%以下・△→99%～90%

(注) 2023年度実績値と目標値(暫定的に目標とした数値)は2023年9月から2024年3月までの期間分とします。

※ 購入電力のCO2排出係数は東北電力の2022年度調整後排出係数 (0.471kg-CO2/kWh)

8. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

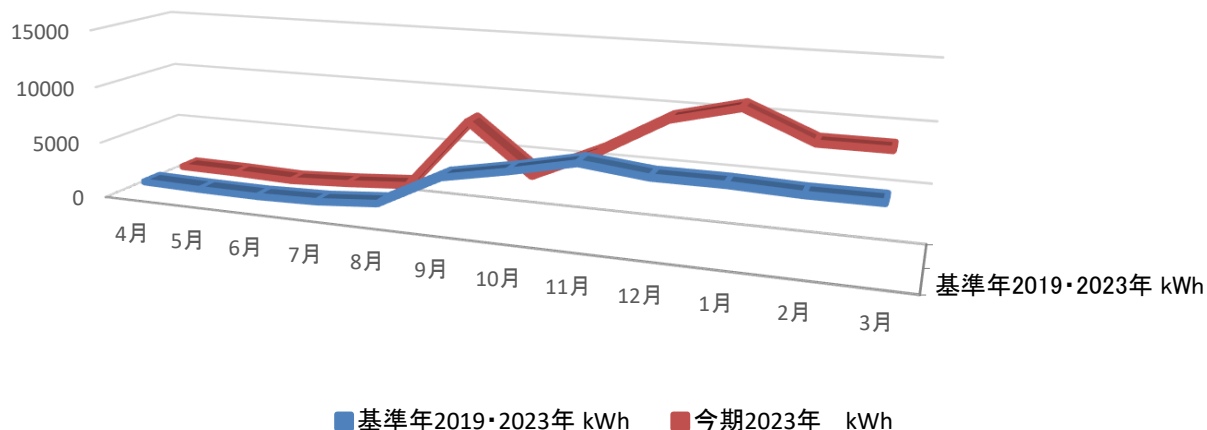
<全サイト取組結果,評価>

※スズキアリーナ山形・スズキ山形西部整備工場は9月～11月の期間が対象

1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

電力使用量の削減



【取組結果】

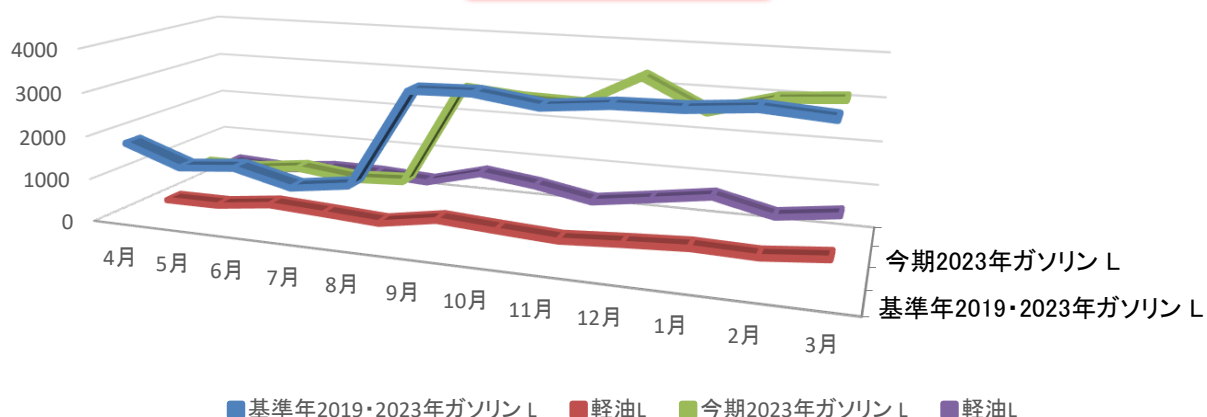
- ◆日中の照明をなるべく使用しない事で営業時間内の節電に貢献。
- ◆消費電力の少ないLED照明の使用で消費電力の削減に貢献。
- ◆営業時間外の残業の削減・使用照明の削減。

【次年度の取組】

- ◆今後は電力消費量の維持

②化石燃料の削減・消費量を見定めての維持

化石燃料の使用量



【取組結果】

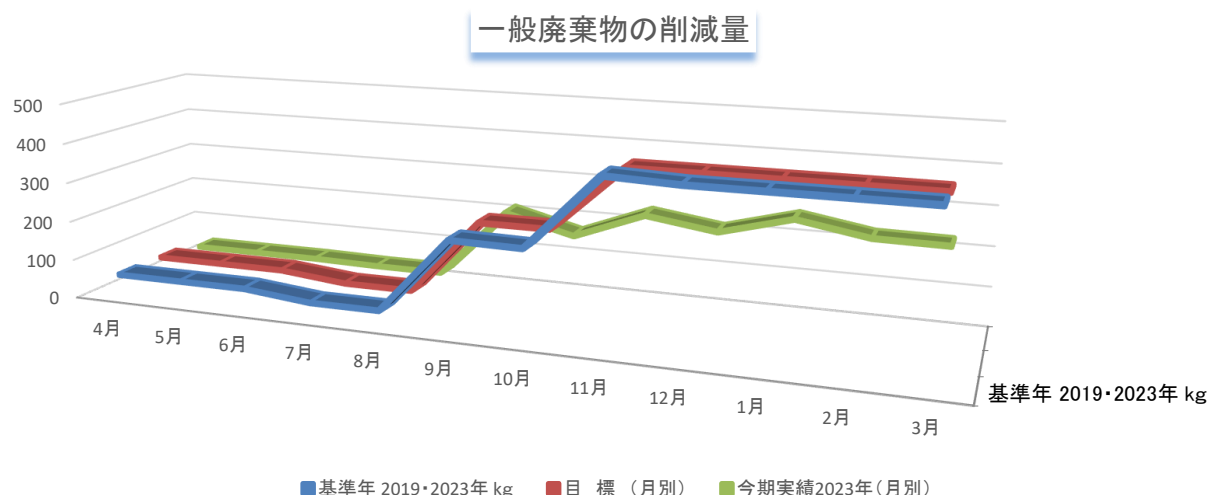
- ◆社用車を低燃費車へでの燃料使用量の削減に貢献。
- ◆来店型店舗への変更で訪問営業の削減に努め削減に貢献。
- ◆代車貸出時はお客様より燃料満タン返しのお願いを徹底。

【次年度の取組】

- ◆化石燃料の使用量を現状維持・エコカー販売の拡販に努める。

8. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

2. 廃棄物排出量の削減

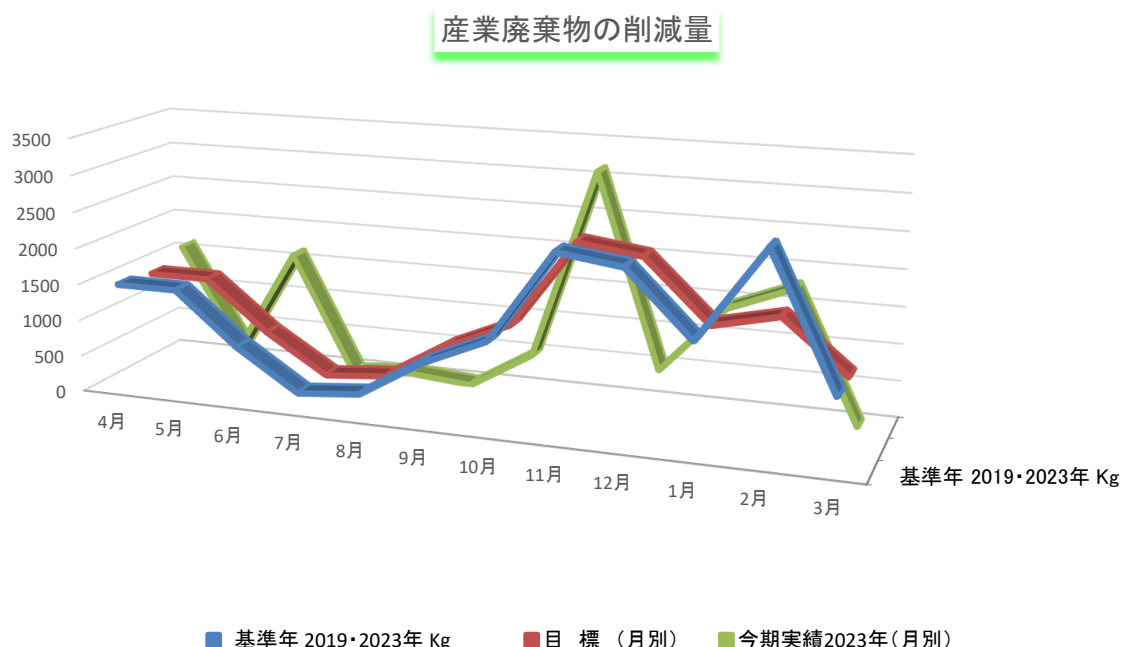


【取組結果】

- ◆カテゴリー別にゴミ箱を設置し分別の徹底。
- ◆社内の事務連絡及び社外からの連絡事項のペーパーレス化に取り組み、削減に貢献。

【次年度の取組】

- ◆引き続き無駄なコピーの削減に努める。
- ◆引き続きゴミの分別・リサイクルを徹底する。



【取組結果】

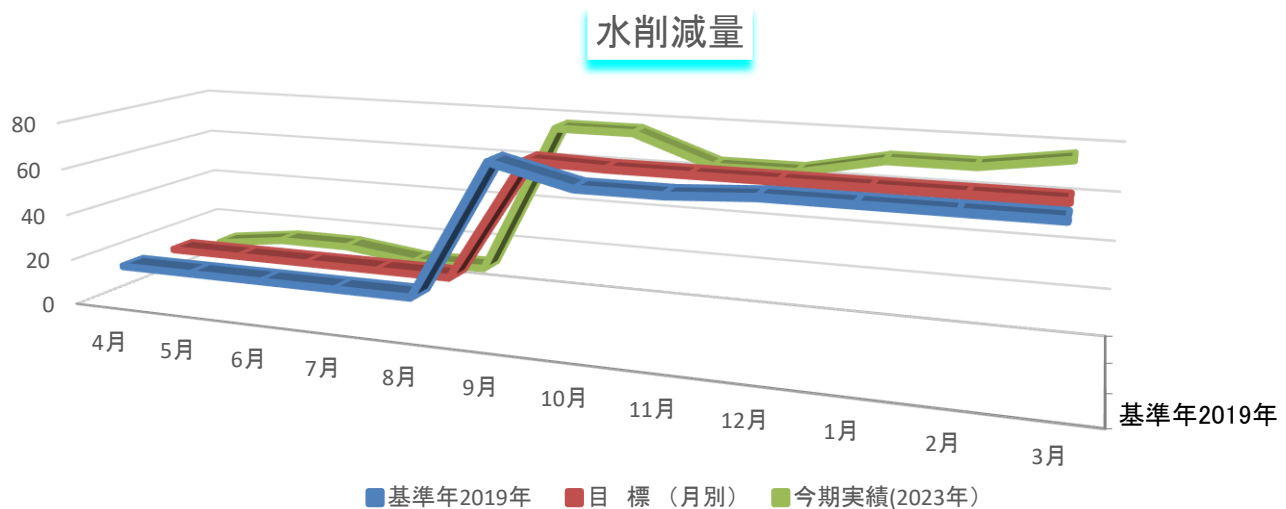
- ◆自動車の修理にリビルト・リサイクル部品を積極的に使用し部品の廃棄量の削減に貢献。
- ◆廃棄物のリサイクル及び環境資源への売却に取り組むことで削減に貢献。

【次年度の取組】

- ◆引き続きリビルト部品・リサイクル部品の使用に取り組む。
- ◆リサイクル可能な廃棄物は出来るだけ環境資源へ再利用できるように処理する。

8. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

3. 水使用量の削減



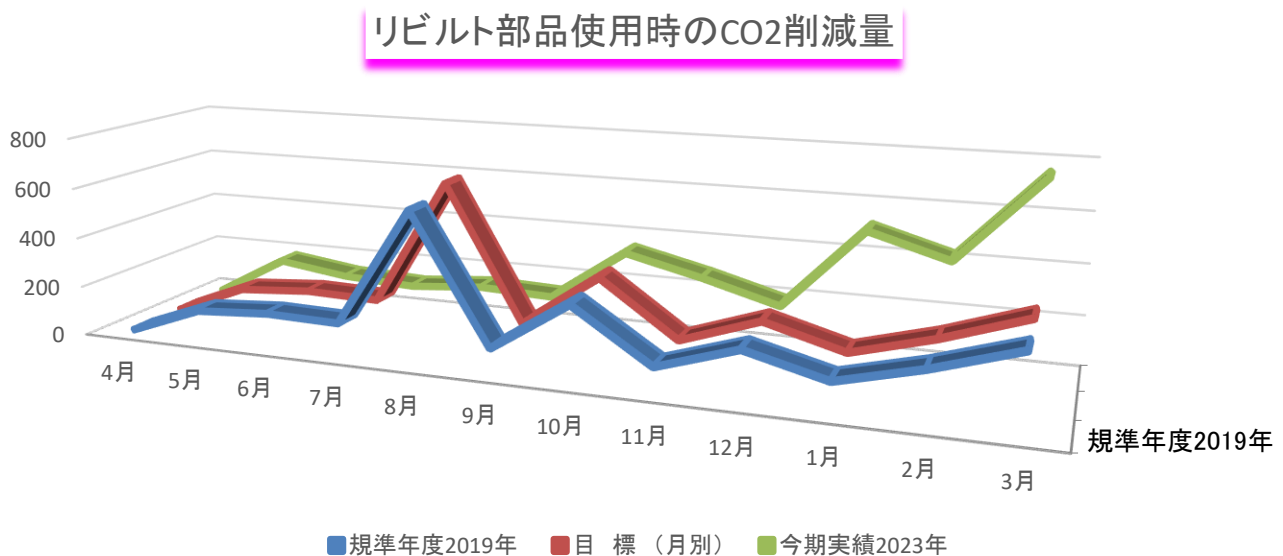
【取組結果】

◆雨天時・積雪時の洗車サービスの提供にて使用量削減。

【次年度の取組】

◆引き続き節水に努める。

4. リビルト部品・リサイクル部品拡販によるCO2削減



【取組結果】

◆リサイクル部品の積極的使用による新品部品製造時に伴うCO2の削減に貢献。

◆リビルト部品のコア返却による部品の再利用によりCO2の削減に貢献。

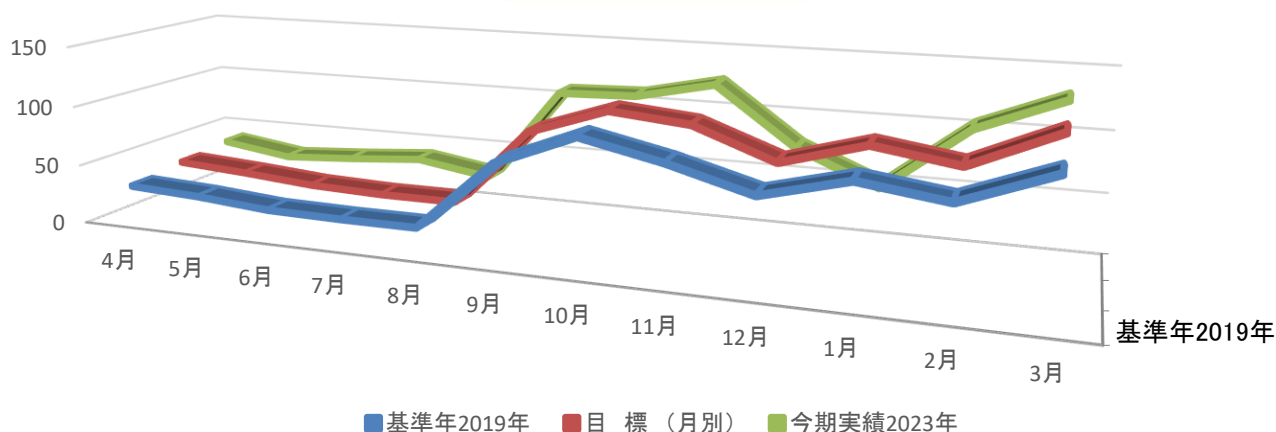
【次年度の取組】

◆引き続きリビルト・リサイクル部品の積極的使用・拡販に努める。

8. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

5. 製品及びサービスにおける環境配慮

エコ点検実施台数



【取組結果】

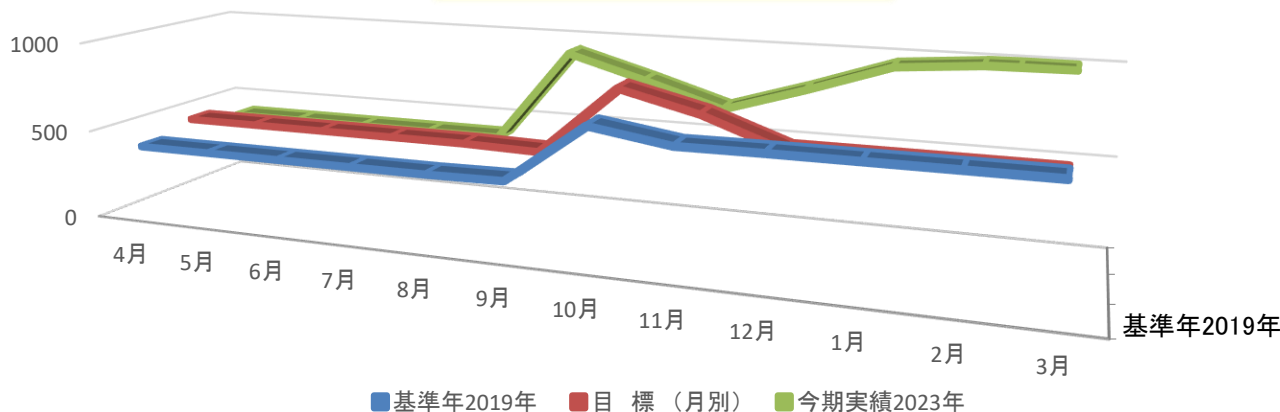
◆エコ点検の促進

- ◇エコ点検の実施台数の向上によるCO2削減と経営利益向上に貢献。
- ◇パックdeメンテの販売促進によってエコ点検実施台数が向上。

【次年度の取組】

- ◇引き続きパックdeメンテの販売促進とエコ点検の重要性をお客様へ周知する。

ロングライフオイルの使用量



【取組結果】

◆ロングライフオイル（エコオイル）の販売促進

- ◇エコオイルを適正な交換時期に提案・販売しCO2削減に貢献。
- ◇弊社独自のボトルキープ販売によって安定した収益に貢献。

【次年度の取組】

- ◇引き続きボトルキープの販売に努める。
- ◇パックdeメンテの販売促進、拡販に努める。

8. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

6. 化学物質の削減

【取組結果】

- ◆化学物質の把握及び削減
 - ◇化学物質を把握し、適正管理。

【次年度の取組】

- ◇化学物質の把握及び現状維持。

7. 社会貢献への取組

【取組結果】

- ◆店舗社員全員で会社周りの歩道などの清掃を行いました
- ◆お客様感謝祭を開催してお客様へ日頃の感謝をお伝えできました

【次年度の取組】

- ◇引き続き社会貢献に努める。

8. 浄化槽の法定検査の実施(マツダオートザム山形西のみ該当)

【取組結果】

- ◆2023年5月30日に浄化槽の法定検査をおこないました。
 - 検査結果は『おおむね適正』

【次年度の取組】

- ◇引き続き毎年の法定検査を行う。

9. 主な環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況の評価

環境関連法規	要求事項	評価結果
・対象事業場 全事業場		
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理 ・水銀使用製品の保管処置	遵守
自動車リサイクル法	・使用済自動車の適正処理	遵守
下水道法	・排水設備の設置(マツダオートザム山形西除く)	遵守
フロン排出抑制法	・業務用エアコン等の簡易点検の実施	遵守
・対象事業場 スズキアリーナ山形嶋		
山形県生活環境の保全等に関する条例(騒音関係)	・特定施設の届出	遵守
・対象事業場 スズキ山形西部整備工場		
水質汚濁防止法	・特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設)	遵守
・対象事業場 マツダオートザム山形西		
浄化槽法	・浄化槽設置の届出 ・法定点検の実施	遵守

2. 違反・訴訟の有無

マツダオートザム山形西・スズキアリーナ山形嶋・スズキ山形西部整備工場において
違反・訴訟はありませんでした。

10.代表者による全体評価と見直しの結果

活動期間	マツダオートザム山形西:2023年04月～2024年03月		
	スズキアリーナ山形嶋:2023年09月～2024年03月		
	スズキ山形西部整備工場:2023年09月～2024年03月		
評価者	舟山 廣三	実施日	2024年7月17日
作成者	後藤 幸宏		

全体評価・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等)

今期からサイト拡大する関連事業所2拠点の環境経営活動の取組みを開始しました。拡大する2拠点は、EA21認証を取得しているマツダオートザム山形西より環境負荷が大きい。その為、EA21への取組によって環境負荷を削減できるチャンスを活かし、経営力の更なる向上に繋げたい所存です。今期の取組み結果としては、電力・化石燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減が厳しい結果となったが、使用量に比例して自動車販売・整備事業での収益アップに繋がった。今後の取組みとしては、弊社の強みである環境に配慮したエコカー販売と共に整備事業でのCO2削減により一層取り組んでほしい。

代表者による全体評価・見直し	見直し項目		変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1	環境方針	☐ 有 ☐ 無	サイト拡大に伴う環境方針の一部改定済み
	2	環境目標	☐ 有 ☐ 無	
	3	環境活動計画・取組項目	☐ 有 ☐ 無	
	4	環境に関する組織	☐ 有 ☐ 無	
	5	その他のシステム要素	☐ 有 ☐ 無	
	6	その他(外部への対応)	☐ 有 ☐ 無	